



Maker Faire Tokyo のご案内

株式会社オライリー・ジャパン

2020.4.13

Confidential

本資料には未発表・未公開の情報が含まれます。本資料の情報・掲載写真は、株式会社オライリー・ジャパンの許可なく、対外的に公開・転載することはできません。

O'REILLY®











イベントのご案内

オライリー・ジャパンについて

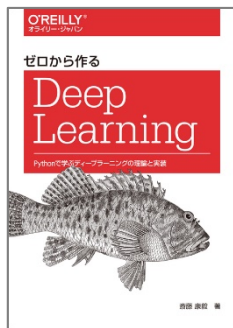
Make:



オライリー・ジャパンは、アメリカに本社を置くO'Reilly Media, Inc. の100%出資子会社として、主要なテクノロジー分野に関する技術書籍の出版活動を展開してきました。

2006年よりテクノロジーを使ったDIYを楽しむ人のための「Make: BOOKS」シリーズの出版をスタート。

2008年よりMaker Faire Tokyo（2012年にMake: Tokyo Meetingからリニューアル）、2019年よりMaker Faire Kyotoを主催しています。



会社概要

社名 : 株式会社オライリー・ジャパン

設立 : 1995年12月12日

資本金 : 35百万円
(米国O'Reilly Media, Inc. 100%出資)

所在地 : 〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町12番22号
VOLT四谷坂町 1F

事業内容 : コンピュータ技術書籍（電子書籍含む）の
翻訳企画出版、Maker Faireの運営

関連会社 : O'Reilly Media, Inc.
Make Community LLC.
O'Reilly UK Ltd.
O'Reilly Beijing

Maker Faireについて

Make:

Maker Faireとは地上最大の（DIYの）展示発表会です。

人々が自分で作った物を見せ合う場所であり、自分が学んだことをシェアする場所でもあります。

2006年に米国サンフランシスコではじまったMakerたちの祭典 [Maker Faire](#) は、規模を世界中に拡大し、現在では世界200か所で開催されるにいたります。

2019年は、バイエリア（サンフランシスコ）、ローマ、カイロ、マイアミ、ウィーン、ベルリン、モスクワ、バンクーバー、バルセロナ、台北、深セン、そして京都、東京などの主要都市でMaker Faireが開催されました。

Maker Faireの使命は、このコミュニティを、楽しませ、情報を提供し、結びつけ、より大きくすることにあります。



Maker Faire Tokyo / Kyoto について

Make:

Maker Faire Tokyoは、2008年から前身イベントMake: Tokyo Meetingを開催し、
2020年で16回目、累計16万人以上が来場

Maker Faire Kyotoは、2019年に関西初のMaker Faireとして開催
2日間で、約7,500人が来場

全国や海外からMakerが一堂に会する、日本最大のMakerムーブメントのお祭りです

個人の物作りにおける日本の中心コミュニティとしても成長を続けています



個人から企業まで
多様なMakerとオープンに交流



最新のテクノロジーを使った
実験的な作品に出会う



子どもから大人まで参加できる
物作りワークショップ

*“Maker Faire is the intersection of
science, art, and technology”*

日本国内のMaker Faireの開催状況

Make:

地域の自治体・学校・企業・作り手が参加し、物作りの楽しさを共有するとともに新しい交流、アイデア、産業を育む場となることを目的に、様々な団体の協力のもと

Maker Faire／Mini Maker Faire／Micro Maker Faireを開催しています

- ・ 京都府精華町：2019年5月にMaker Faire Kyotoを開催。主催：オライリー・ジャパン 後援：京都府、公益財団法人 京都産業21、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、京田辺市、木津川市、精華町。2019年 来場者 約7,500人、出展者190組
- ・ 岐阜県大垣市：2010年にMake: Ogaki Meeting、2012年、2014年、2016年、2018年にOgaki Mini Maker Faireを開催。主催：Ogaki Mini Maker Faire 実行委員会。2018年 来場者 約7,000人、出展者143組
- ・ 山口県山口市：2013年、2015年にYamaguchi Mini Maker Faireを開催。主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団（山口情報芸術センター [YCAM] ）。2015年 来場者 約7,400人、出展者 106組
- ・ 茨城県つくば市：2020年にTsukuba Mini Maker Faireを開催。主催：TMMF実行委員会 共催：株式会社オライリー・ジャパン、つくば市 協力：筑波大学、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、産業技術総合研究所、COIファブ地球社会創造拠点、up Tsukuba。



2020年1月25日にSendai Micro Maker Faireを開催（会場：サンフェスタ 来場者：約450名）

Maker Faire Tokyo / Kyoto の開催実績

Make:

日本全国で、3万人以上の方がMaker Faireに参加！

◆Maker Faire Kyoto 2019

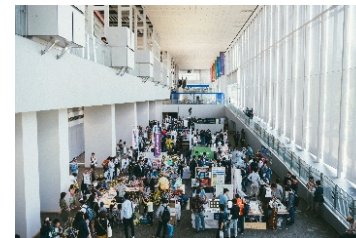
会期：2019年5月4日（土） 12:00～18:00

5月5日（日） 10:00～17:00

会場：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

出展者数：約190組 来場者数：7,500人

スポンサー：19社



◆Maker Faire Tokyo 2019

会期：2019年8月3日（土） 12:00～19:00

8月4日（日） 10:00～18:00

会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

出展者数：約350組 来場者数：22,000人

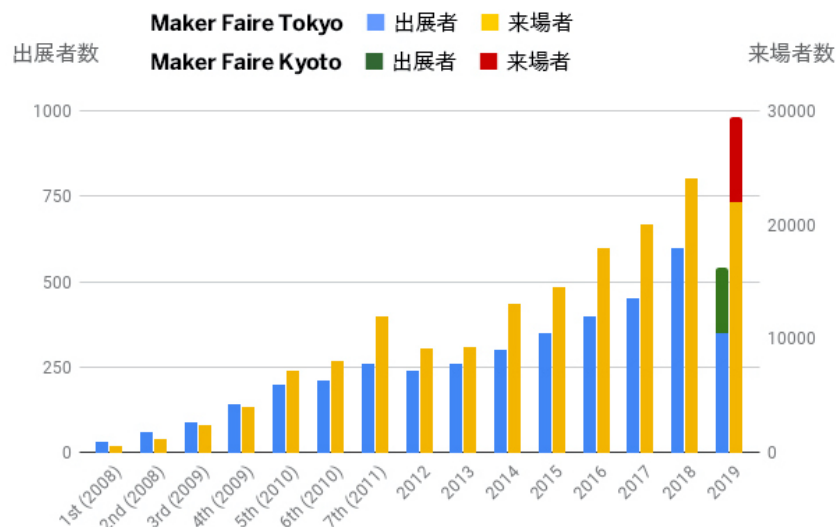
スポンサー：53社

Media & Community Sponsors：5団体

プレス来場者：約68媒体・108名（2日間計）

教育機関来場プログラム：計25校／教職員88名・生徒383名を招待（小学校2校、中学校3校、中高一貫校3校、高等学校4校、高等専門学校1校、専門学校4校、大学6校、その他2団体）

年度別参加者数推移（Maker Faire Tokyo／Kyoto）



Maker Faire Tokyo 2019 ハイライト

Make:

特別企画

特別講演



パネルディスカッション



キッズスペース



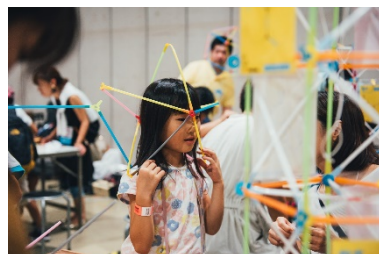
Young Maker Show & Tell



レース・競技会



ワークショップ・ハンズオン



コンテスト



テレビ

- NHK国際放送（NHK World）9月19日（木）「great gear」

新聞

- 山形新聞 8月10日「社説：米沢工高「ORINASUプロジェクト」次代担う人材育成期待」
- 教育新聞 8月15日「最新技術でものづくり楽しむ 都内イベント 中高生も参加」



ウェブサイト

その他の掲載情報 <https://makezine.jp/event/mft2019/media/>

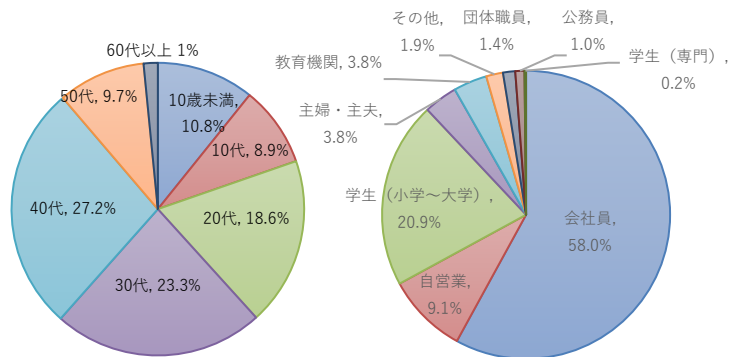
- excite 4月5日「日本最大のテクノロジーDIYイベント「Maker Faire Tokyo 2019」の出展者・スポンサー募集開始！」
- ロボスタ 4月5日「「Maker Faire Tokyo 2019」の出展者募集が開始！ 今年8月3日から2日間、東京ビッグサイトで」
- ICT教育ニュース 4月5日「オライリー・ジャパン「Maker Faire Tokyo 2019」出展者・スポンサー募集開始」
- fabcross 4月10日「「Maker Faire Tokyo 2019」が出展者の募集開始」
- Axis web magazine 4月12日「オライリー・ジャパン「Maker Faire Tokyo 2019」が開催 テクノロジーを自由な発想で使う作り手の発表・交流の場」
- ICT教育ニュース 7月16日「「Maker Faire Tokyo 2019」、出展者・スポンサー約350組を発表」
- 河北新報 7月20日「＜米沢工高＞米織とIoT融合 来月東京で展示「実用化目指しPR」」
- TIME & SPACE 7月23日「夏の自由研究はスマホでプログラミング！」
- EdTechZine 7月23日「ベネッセ、「Maker Faire Tokyo 2019」でSTEAM教育に取り組む学校の作品展示」
- CBCNET 7月24日「物作りの祭典「Maker Faire Tokyo 2019」約350組が出展！ 8月3日、4日の2日間、東京ビッグサイトに開催」
- Amebaニュース 7月29日「「自由研究」で伸ばす力こそ、将来役に立つ力になる」
- 八王子経済新聞 8月3日「Maker Faire Tokyo 2019 に工学院大学附属中学校・高等学校が出展」
- ITmedia 8月4日「「からくり計算機」「ゲームボーイシンセサイザー」「手のひらサイズお絵かきマシン」——“自作”の祭典「Maker Faire Tokyo 2019」で見た個性豊かな作品たち」
- AbemaTV 「けやきヒルズ」 8月5日 「Maker Faire Tokyo レポート」
- おたくま経済新聞 8月9日「柔らかなものを柔らかく動かしたい…ぬいぐるみロボット「NUIBOT（ヌイボット）」が絶賛進化中」
- 日経ビジネス 8月29日「アジア各国政府が注目する自作の祭典「メイカーフェア」」

ATTENDEE : 来場者属性 (1)

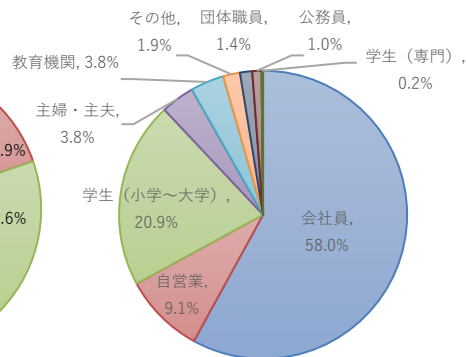
Make:

Maker Faire Tokyo 2019(2019年8月実施) 来場者アンケートより 会場でのアンケート用紙回収およびWebフォームからの回答/割合は未回答者を除く

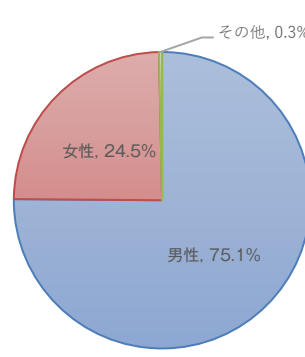
01.年齢層 (N=640)



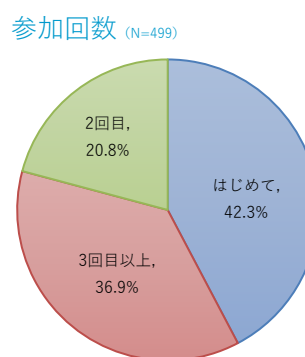
02.職業 (N=583)



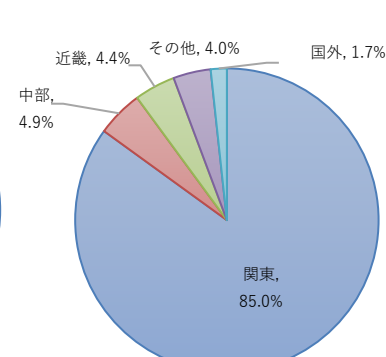
03.性別 (N=611)



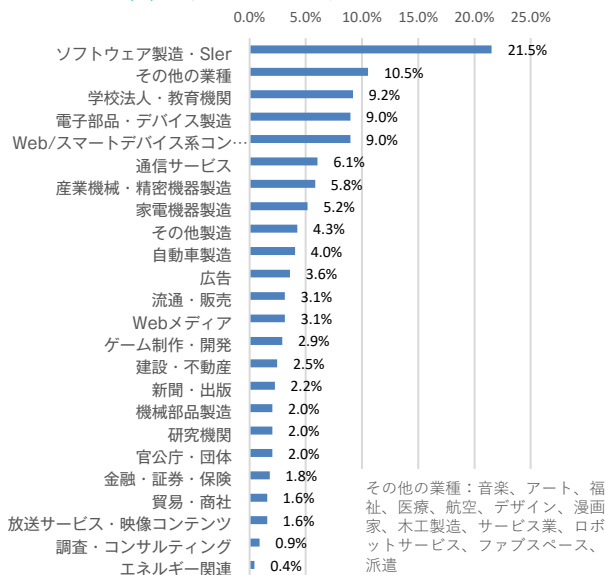
04.Makeイベントへの参加回数 (N=499)



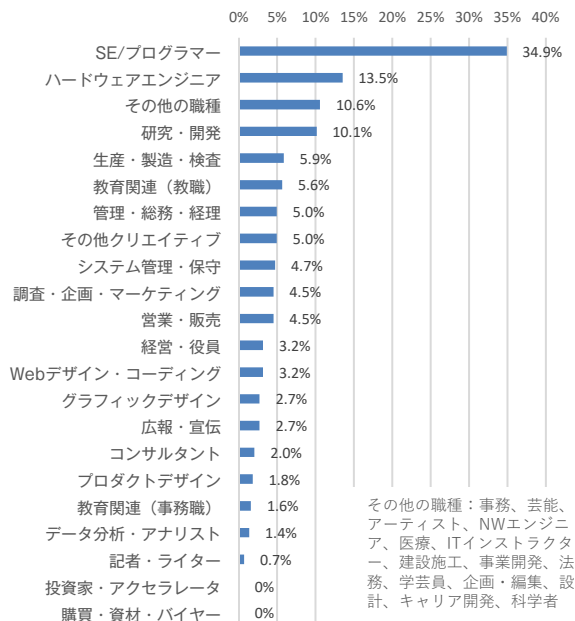
05.居住地域 (N=526)



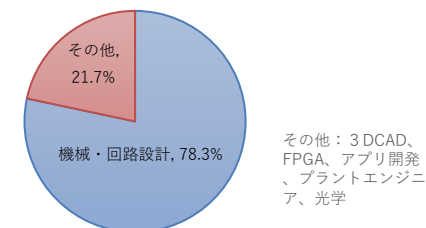
06.業種 (N=446、複数回答あり)



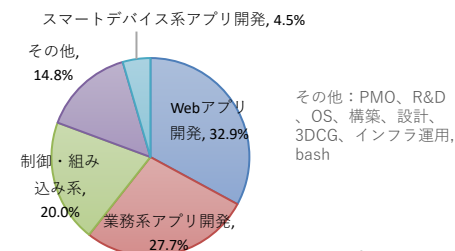
07.職種 (N=444、複数回答あり)



ハードウェアエンジニアの属性 (N=60、複数回答あり)



SE/プログラマーの属性 (N=155、複数回答あり)

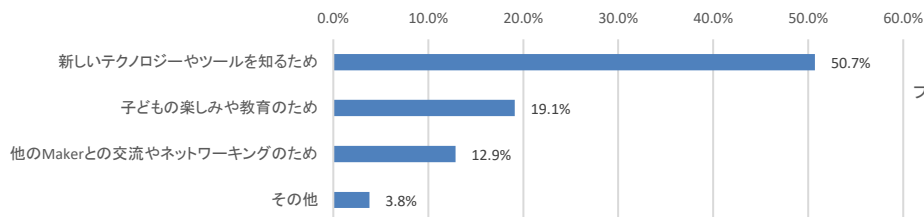


ATTENDEE：来場者属性（2）

Make:

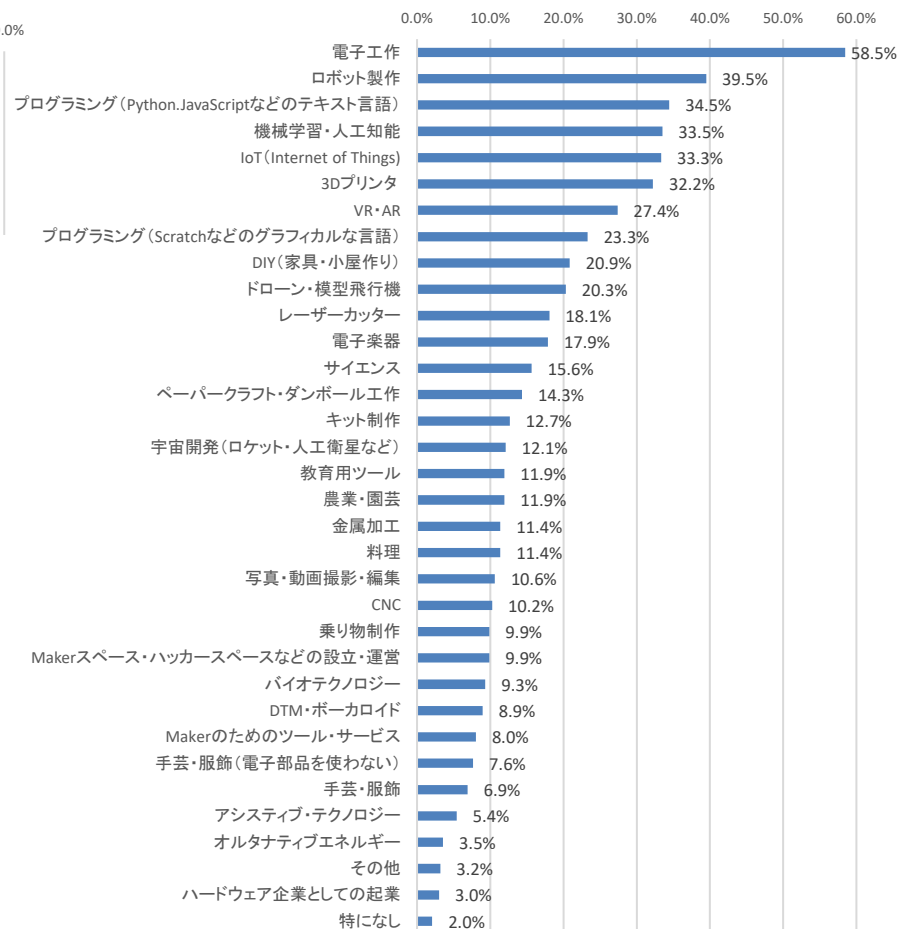
Maker Faire Tokyo 2019(2019年8月実施) 来場者アンケートより 会場でのアンケート用紙回収およびWebフォームからの回答／割合は未回答者を除く

08.Maker Faire Tokyoへの参加目的 (N= 497・複数回答)



その他：高校で生徒に紹介するため、家族が出演していたため など

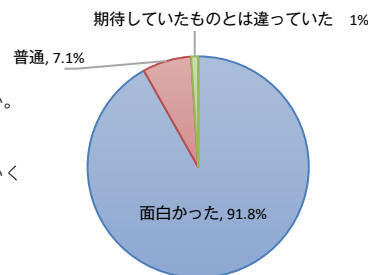
09.現在興味があるもの (N=537、複数回答)



その他：AIカー、micro:bit、webサービス、自由工作 など

10.2019年の感想 (N=490)

- 新素材系もっとみたいです。
- いつまでも間口の広いイベントであって欲しい。
- 新しいMAKEのマガジン、雑誌が読みたい。
- 今年はブースが少ないと聞いていたが感じないくらい濃かった。
- 開催日を年に2回など増やして欲しい。
- すごくおもしろかった。
- 楽しいだけでなく、社会的な意義あるすばらしいイベントだと思っています。これからもずっと続けて欲しいです。
- 出来上がった製品も参考になるが、部品や加工機などのツールが少なかった。夏休み期間なので子供向けが多いのも理解できるが、もっともっとメイカーが楽しめるコンテンツが欲しい。物販が少なすぎる。
- 来年も見に来ます。
- もっと広いスペースでのびのび見たい。
- ワークショップの券がなくなるのが早すぎる。
- もっと時間を長くして欲しい。

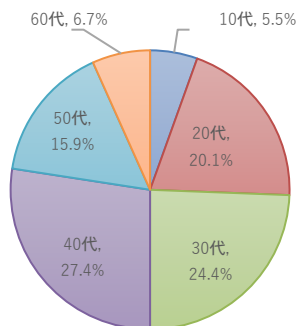


MAKER：出展者属性（1）

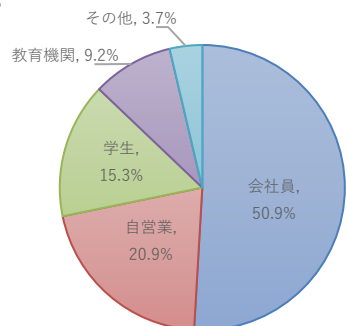
Make:

Maker Faire Tokyo 2019(2019年8月実施) 出展者アンケート（Webフォームからの回答）および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

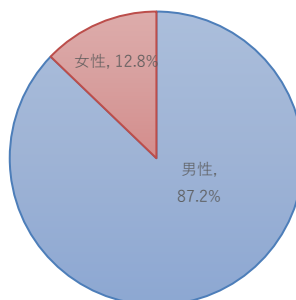
01.年齢層 (N=164)



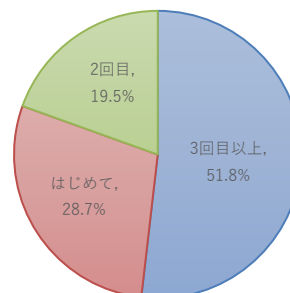
02.職業 (N=163)



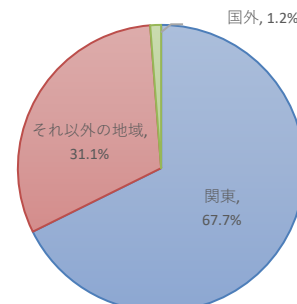
03.性別 (N=156)



04.過去の出展回数 (N=164)



05.地域 (N=164)

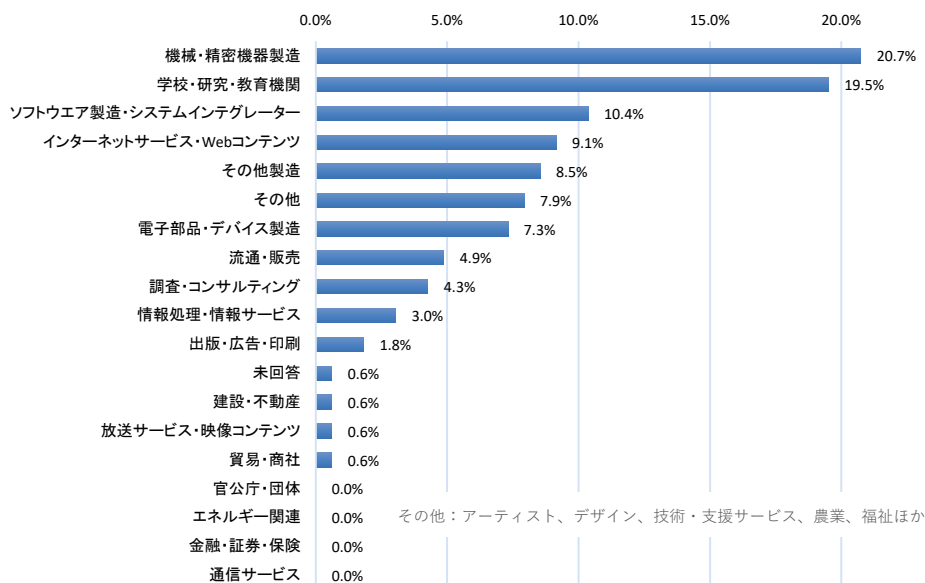


国外の回答：台湾（1）、中国（1）

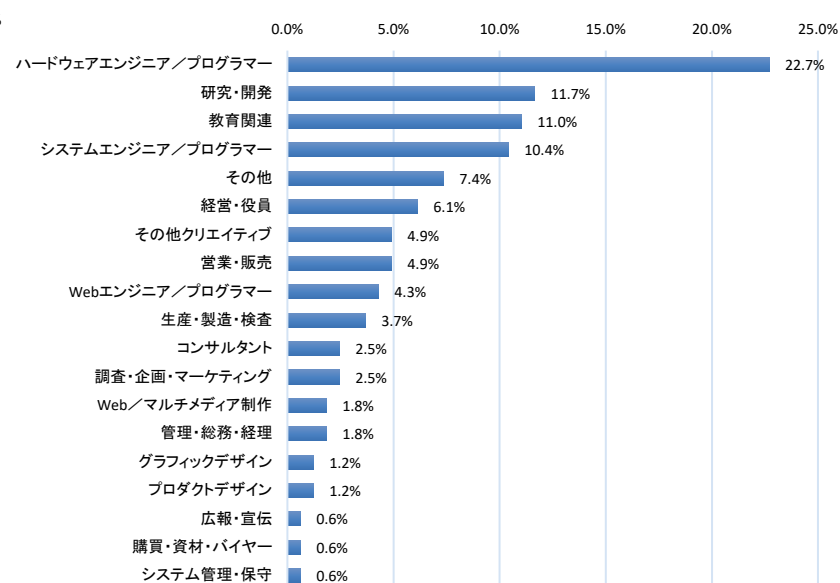
関東以外の地域の割合：

北海道	1.2%
東北	2.5%
北陸	1.3%
中部	15.2%
近畿	9.1%
九州・沖縄	1.8%

06.業種 (N=164)



07.職種 (N=163)

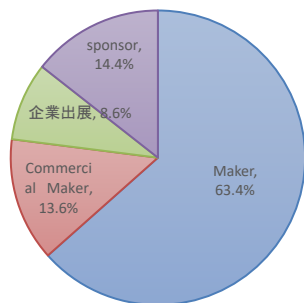


MAKER：出展者属性（2）

Make:

Maker Faire Tokyo 2019(2019年8月実施) 出展者アンケート（Webフォームからの回答）および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

08.出展区分カテゴリー

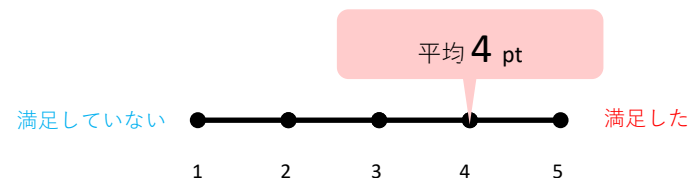


Maker：
販売を行わない個人、またはグループ [教育機関、コミュニティ]

Commercial Maker：
販売を行う個人、またはグループ [教育機関、コミュニティ]

企業出展：
企業名義（企業名、製品・サービス名が出展者名や出展情報に含まれる）で出展

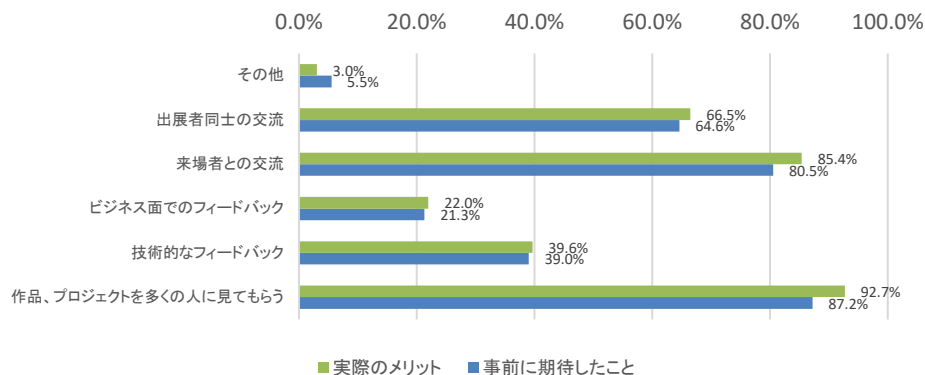
10. スポンサー：今回の出展の満足度（5段階評価）



"I hope you can see what makes Maker Faire Tokyo special are the Japanese makers. They combine technical skill with a very playful mindset that I find engaging and fun."

By Dale Dougherty, the Founder of Maker Faire

09.出展して得られたメリット（N=164、複数回答）



その他：来年もここで新しい発表をしたいと思った、来場者の反応で次の作品へのアイデアが浮かんだ、ロボカップの新チームが増えた、コンテスト参加者との交流と学び、等

Maker Faire Tokyo 2020概要

Confidential

Make:

名称： **Maker Faire Tokyo 2020**（略称：MFT2020）

会期： **2020年10月3日（土）12:00～18:00、10月4日（日）10:00～17:00（予定）**

搬入日...10月2日（金）午後、10月3日（土）午前、出展者懇親会...10月3日（土）夜

会場： **東京国際展示場 西3・4ホール**

主催： **株式会社オライリー・ジャパン**

来場者：物作りや新しいテクノロジーに関心を持つ幅広い年代の方。**STEAM**・教育に関心のある家族連れ、**IT・製造業のエンジニア職、工学・情報・デザイン系学生など**

想定参加人数（2日間計）：来場者数 **24,000人**／出展者数：**350組**

協賛： **Make**の精神を理解し、支援したいと考える**Makerムーブメント**と親和性のある企業

入場料：＜前売＞ 大人 **1,000円**、**18歳以下 500円**（税込）

＜当日＞ 大人 **1,500円**、**18歳以下 700円**（税込）

*小学校未就学者、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

*教育機関向け来場プログラム予定

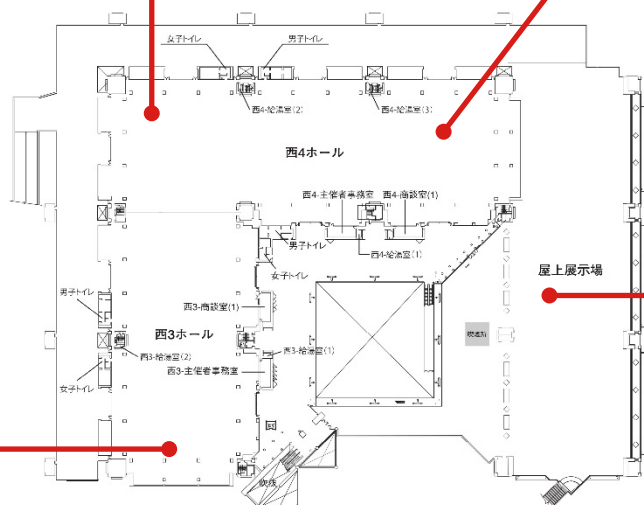
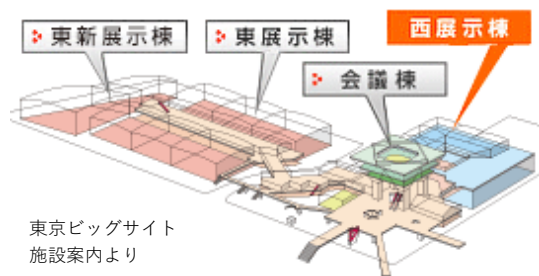
ウェブサイト： <http://makezine.jp/event/mft2020>

Maker Faire Tokyo 2020 会場図

Make:

西3ホール 展示面積: 4,680 m²
西4ホール 展示面積: 6,840 m²

※2019年と同会場



○「メイカー」の裾野を広げ、「手を動かす」ことの価値を伝える

⇒スポーツと同様に裾野が広がることで、全体のレベルも向上する

- ・従来よりも広報を強化。「消費者」が「メイカー」になるきっかけを作る
- ・10～20代の出展を促進する企画を実施
- ・「企業内メイカー」の交流を促進。現場のエンジニアを活性化
- ・東京、京都、大垣、つくば、そして「Micro Maker Faire（仙台ほか、2020年中に2-3カ所にて開催予定）」へ、Maker Faireを全国へ広げる

○ Maker Faire Tokyoにしかできない「学び」への注力

- ・出展する大人の「本気」で、子どもたちの「やってみたい！」という思いを刺激
- ・STEAM教育の実践者が多数出展。各種のツールを使いこなしたユニークな作例で、子どもたちに「自分で作ることの楽しさ・可能性」を伝える
- ・体験型企画（ハンズオン）で、家庭や学校ではできない「作る体験」を提供

●2020年のテーマは「メイカーの遊園地（仮）」

本年より、ポスターデザイン、会場の装飾、主催者企画、スポンサーやコミュニティとのコラボレーション企画に統一したテーマを設定。来場者がより楽しめる雰囲気づくりを行い、出展者、スポンサー、コミュニティとの連携も深めていきます。詳細は現在調整中です。ご興味のある方はお問い合わせください。

オンラインイベントの同時開催



弊社はイベント参加者（来場者、スポンサー、出展者、関係者）の安全を最優先に考えています。今後の新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況による、オンサイト（東京ビッグサイトを会場にした）イベント開催の可否は、7月末までに決定する予定です。

また、Maker Faire Tokyo 2020では、オンサイトのイベントとオンラインのイベントを併催し、どんな状況においても、**出展者とスポンサーに発表とコミュニケーションの機会を提供いたします。**

●出展料の返金について

オンサイトのイベントが開催中止となった場合、お支払いいただいた協賛料につきましては、全額返金させていただきます（ただし、ご入金いただいた際の振込手数料や参加準備にかかった経費などは、返金の対象外となります）。

●オンラインイベント「Maker Faire Tokyo Online」について

- ・オンラインキックオフミーティング（7月）
- ・会場からのYouTube Live（10月3日、4日、オンサイトイベントが中止になった場合は中止）
- ・Twitterを使った作品発表（10月3日、4日）

<以下の企画は、オンサイトのイベントが中止になった場合に実施します>

- ・ **Show & Tell**（希望する出展者、スポンサーすべてによるプレゼンテーション）
 - 開催日：10月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）、12日（月・祝）
 - 出展者は5分、スポンサーは20分のプレゼンテーションを実施。
（Make: Japanの公式アカウントを使ったYouTube Liveを予定）
 - 基調講演、パネルディスカッションなども実施。
 - スポンサーのプレゼンテーションは、別途5万円（税別）の費用を申し受けます。
- ・オンライン懇親会（10月10日）
- ・オンラインワークショップ（詳しくはお問い合わせください）ほか

* オンラインイベントの内容は、企画中につき変更の予定があります。

● 「Maker Faire Tokyo Online」 限定スポンサーの募集について

オンサイトイベント「Maker Faire Tokyo」の協賛プラン（P.30）に加え、オンラインイベント「Maker Faire Tokyo Online」限定でご協賛いただけるプランもご用意します。

【協賛料】 オンサイトイベント用各協賛プラン（P.30）の50%引き

【プラン内容】 ・HP上にて各協賛プランごとのロゴを掲載（予定）

・オンラインイベント内でのプレゼンへの参加（SILVERSMITH SPONSOR 以上）

オンサイトイベント開催の場合には、YouTube Liveの会場中継内でオンラインにてプレゼン参加をお願いします。

【申込み】 協賛申込方法（P.39）をご確認ください。

協賛申込書上で、該当する協賛プランと特別割引の種類にチェックをお願いします。

※その他、オンラインイベントに合わせた企画等のご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

協賛のご案内

Maker Faire Tokyo は「メイカー」が参加する、国内において最大級のイベントです
イベント運営およびメイカーの出展は、多くの協賛社のご支援によって実現しております

本イベントへの協賛を通じ、メイカームーブメントやメイカーの皆様に対する支援を賜るとともに、日本全国、海外から集まる出展者や、物を作ること・最新のテクノロジーに関心を持つ来場者が一堂に会する機会を活用いただければ幸いです。

1. メイカーコミュニティに対し、貴社及び貴社商品を認知させることができます

展示だけでなく、ステージでのプレゼンテーション、ワークショップエリアなど製品や技術をアピールする機会をご用意しています。コアユーザーと直接コミュニケーションをとることができるMaker Faire Tokyoでは、プロトタイプや新サービスを実演し、意見、反響を探る作り手・企業も多く見られます。また、近年はこれから物作りを始めたいエントリーユーザーの来場も増加、新規層向けの製品を訴求することも可能です。

2. 「Makerを支援する」という姿勢を国内外に広く訴求、ブランドイメージの向上につなげます

個人のユニークな展示に加え、近年は企業のメイカー向け製品発表も行われ、国内各種メディアから高い注目を集めています。また、米国Make:を始め、海外ネットワークや国外のメイカーコミュニティからの視察、取材も増えています。

3. 新しいパートナーシップ／プロジェクトの可能性が広がります

Maker Faire Tokyoで出会い、新しいプロジェクトや交流が始まるなど、メイカーや出展企業間のコラボレーションが生まれる場でもあります。初日は出展者限定の懇親会も予定。情報交換の機会としてご活用いただけます。



協賛実績

Make:

過去のご協賛企業（一部・順不同）



協賛・展示事例

Make:

■ユーザーコミュニティや社内メイカーの作品紹介



KDDI：au未来研究所と鹿島アントラーズFCのコラボハッカソンでの成果物の展示



タカハ機工：ソレノイドコンテストの入賞作品や社員制作の応用作品の展示

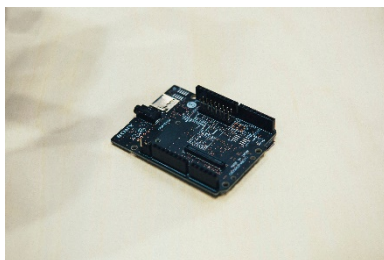


インターネットイニシアティブ：農業IoT展示と、社内公募によるオリジナルIoT作品の展示



JapanTaxi：自社オリジナルコンテンツと実車両を使ったプロダクト体験

■新製品の先行販売、テストマーケティング…事務局と同時リリース配信の連携も



ソニーセミコンダクタソリューションズ：マイコンボード「SPRESENSE」を先行販売



セメダイン：「フレキシブル導電性接着剤」を限定販売、テストマーケティングに活用



toioプロジェクト：製品化前のプロトタイプデモを行い、フィードバックを収集



アフレル：発売前のプログラミング教材「SPIKE™ プライム」のデモ体験実施

“自由な発想を持つお子さんが多く参加されているのが印象的でした。
普段クラフト系のワークショップなどを行うのですが、
親御さんの意見が強くお子さんが自由にできていないシーンを目にします。
それが無い方々が参加されているのだという印象でした。”

Maker Faire Tokyo 出展者のアンケートより

“Make文化を起点に人の交流が発生したり、仕事に繋がったり（中略）上層部の方に見ていただいたり想定外の良いことが起こりました。また、メンバーも終了2日後に
何かインスピレーションを得て仕事に繋がる話をくれました。
想定していた以上の効果がでて、もっともっと何かやってみたい気持ちが膨らみました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

協賛・展示事例

Make:

■教育企画への支援・協力



ベネッセ：「School Maker Faire」の実施と学生によるプレゼンテーション



マクニカ：定番ハンズオン はじめてのはんだづけ体験「Learn to Solder」への協賛

■プレゼンテーション／ワークショップ／ハンズオン



オートデスク：米国本社CEO（当時）が来日、海外のメイカーを取り巻く環境について紹介



littleBits（コルグ）：「littleBitsでドローンサッカー対決をしよう！」小学生向けワークショップ

■実験的な取り組みの成果発表、コラボレーション



任天堂：Nintendo Labo体験とMFT出展者のオリジナルラボ作品の展示



タイカ×DMM.make AKIBA：タイカのαGELを使ってDMMで開催したイベントのプロダクト展示

■機材協力・出展者サポート



白光：出展者のための「はんだ修理PIT」へ機材協力。社員の方による技術アドバイスも



セメダイン・デジタルハイク：デザインワークショップ「Nerdy Derby」への資材提供

“若い世代、これからの世代、好奇心旺盛な世代、
今までないものを生み出したいと企んでいるすべての人たちに
弊社製品の存在を知らせたいと思いました。”
Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「協賛の目的」より

“来場者の皆様にとっても興味を持っていただき、
有意義なコメントを沢山頂戴いたしました。
なかなか会えない海外のVIPやパートナーさんとも気軽にお話しができ、
コラボのきっかけをいただきました。”
Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

協賛プラン

※展示スペースなしの場合、各プラン50%引きで承ります。

※ オンラインイベント限定スポンサーについてはP.24をご覧ください。

Make:

※価格はすべて税別

プラン	PRESENTING SPONSOR (2社)	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR (※1)	(ご参考:2019年) 企業出展
協賛料	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	10万円
ロゴ掲示 (プログラムガイド・ウェブ・会場サイン)	特大 イベントタイトル掲示	大	中	中	小	小	なし
展示スペース (mm)	8,400×8,400 相当	8,400×4,200	4,200×4,200	4,200×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100
プランに含まれる備品	なし (備品レンタル可)				長机1本・椅子2脚 (追加レンタル可)		長机1本・椅子2脚
プレゼンテーション・ワークショップ (※2)	オプション 20万円						申込可 出展者枠で選出
スポンサータグの提供 (※3)	40枚	30枚	20枚	10枚	10枚	8枚	4枚 出展者タグ
招待券の提供 (※4)	50枚	40枚	30枚	20枚	10枚	8枚	なし
出展者懇親会招待券の提供 (※5)	8枚	4枚	2枚	2枚	2枚	2枚	なし
電源 (※6 コンセントは全ブースに設置)	①事務局によるコンセント設置／ ②出展者による2次幹線工事 より選択			①事務局によるコンセント設置			
電気工事費・使用料 (※6)	別途 1万円～ 一次側幹線工事費 + 電気使用料 + コンセント追加費 が必ずかかります (費用や自社工事する場合は※6参照)						なし
インターネットの使用	有線LANネットワーク利用 (有料) は、東京ビッグサイトへのお申し込みとなります。協賛申込完了後に、窓口をご案内いたします						なし

※1: 社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。[該当条件] 業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った企業であること／創業5年以内の企業であること (イベント開催時)／従業員数が10名以下であること／資本金3,000万円未満であること／年商1億円以下であること。／申込後に審査がございます。

※2: [協賛申込時に申し込み] プレゼンテーション・ワークショップの枠には限りがあり、先着順の受付となります。実施詳細・規定は「協賛募集要項」をご覧ください。

以下、追加のタグ・招待券は8月の「出展内容申請」時にお申し込みいただけます。

※3: 搬入出・会期中会場への入場にはタグが必要です。追加スポンサータグ: 1枚900円、施工業者さま向け搬入出タグ (搬入出時のみ入場可): 無料

※4: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様にご入場いただけます (2名が同時に入場する場合に限り)。追加招待券セット: 10枚7,000円。

※5: 10/3 (土) の夜に開催される出展者懇親会の無料入場券です。追加参加の場合は別途実費を申し受けます。

※6: ①②いずれかの工事を選んでいただき、会期後に請求をさせていただきます。(税別) ①事務局による設置: 幹線工事費 (2,000円) + 電気使用料 (1kwごと8,000円) + コンセント追加費 (1ヶ所2口ごと100V: 2,800円、200V: 15,000円/1.5kwごとに、コンセントの追加が必要になります) ②出展者による2次幹線工事: 電気使用量 (1kwごと8,000円) ※各島ごとに1〜2個の分電盤が設置されます。2次工事範囲は分電盤以降となります。

■費用が別途かかるもの

備品レンタル／追加タグ・招待券／有線LANネットワーク利用／床工事／オプションメニュー

プラン	PRESENTING SPONSOR	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR	(ご参考) 企業出展
展示スペースの配置	最重要地へ配置 申込順と事務局内の検討により決定			重要地へ配置 事務局内の検討により決定			事務局内で決定
変形スペース・壁面指定 (オプション)	事務局と相談のうえ決定 (変形 見積)		指定可 (壁面 各5万円税別/変形 見積)		指定なし		

Presenting Sponsor

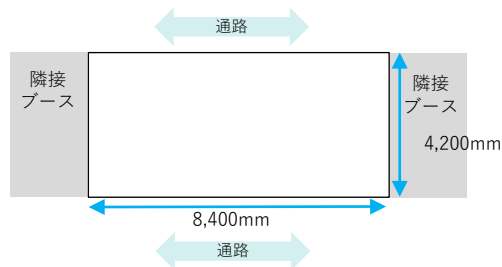
Prime location

8,400mm×8,400mm相当

スペースレイアウトは事務局と相談のうえ決定

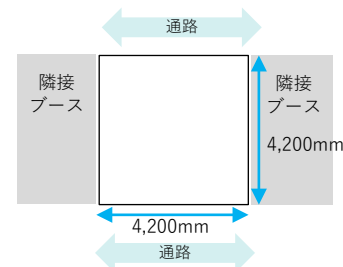
Platinumsmith Sponsor

Important location



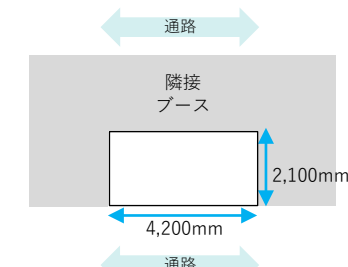
Goldsmith Sponsor

Important location



Silversmith Sponsor

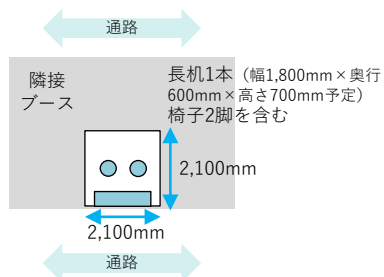
Good location



Coppersmith Sponsor

Startup Sponsor

Good location



■壁面スペースのご指定

会場の壁面を背にしたスペースをご指定になる場合は、壁面スペース指定料を申し受けます。

- ・ Goldsmith Sponsor/Silversmith Sponsorのみ
- ・ 先着順にて受付・数に限りあり
- ・ 低天井で若干暗くなります。照明のご用意をお願いいたします

■変形スペースのご要望

通常以外の形状のスペースを希望される場合は、変形スペースレイアウト費用ならびに追加スペース料金 (別途見積) を申し受けます。

- ・ Silversmith Sponsor以上

■他出展者との隣接・共同展示のご要望

スポンサー同士の隣接は、各々申請いただければ調整可能です (先着順)。スポンサー出展エリア内で、他のMaker (企業、団体、個人) との隣接はできません。スポンサー展示スペース内で他の企業、団体、個人が共同展示を行う場合は申し込み時に必ず明示ください。

ポリシー詳細は「協賛申込要項」を参照ください。

■展示スペースの注意点

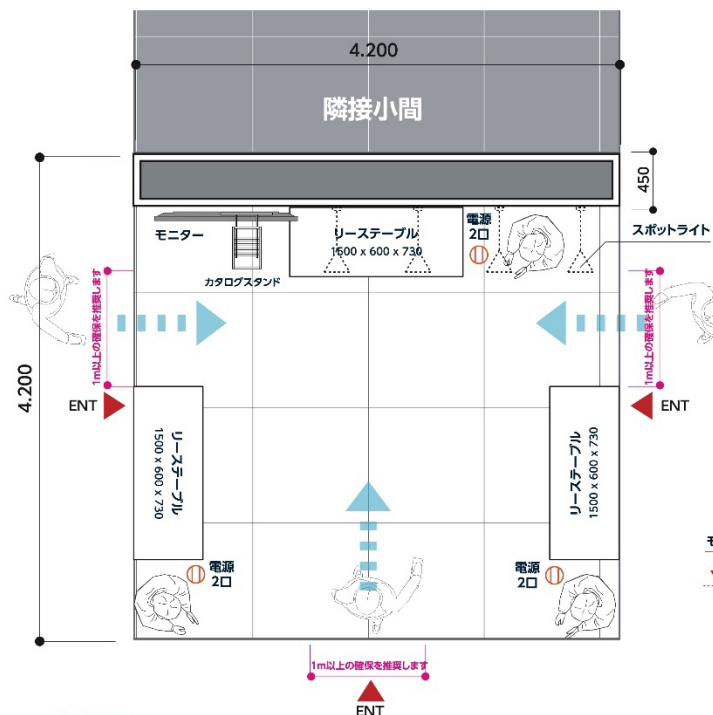
- ・ 装飾や出展にあたっての規定は「協賛募集要項」および「スポンサーマニュアル」をご確認ください。
- ・ 通路に接している面はスペースの配置により増える場合があります。
- ・ スペース内での展示となります。通路での誘導、アンケートなどはご遠慮ください。

展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Maker Faireは、スポンサー・出展者合わせた会場の一体感が特徴となっています。
ご出展の際には、写真や図面をブースづくりの参考にしてください。

Goldsmith Sponsor <展示中心レイアウト>

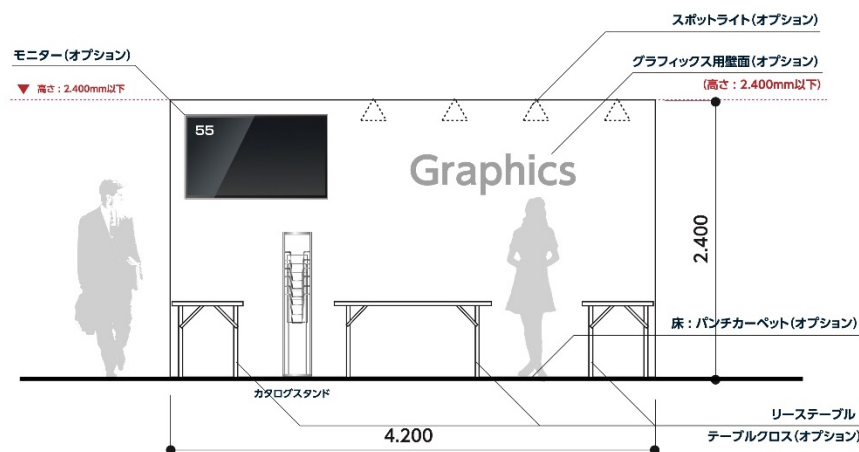
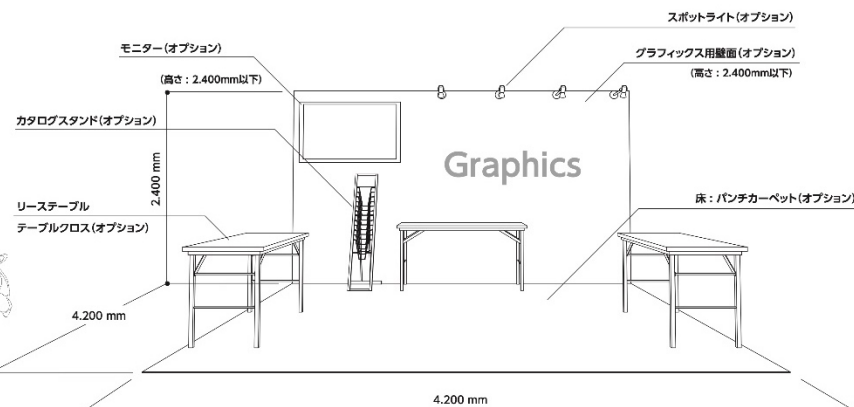


<高さ制限>

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバルーン等の設置はできません。

<来場者への安全配慮について>

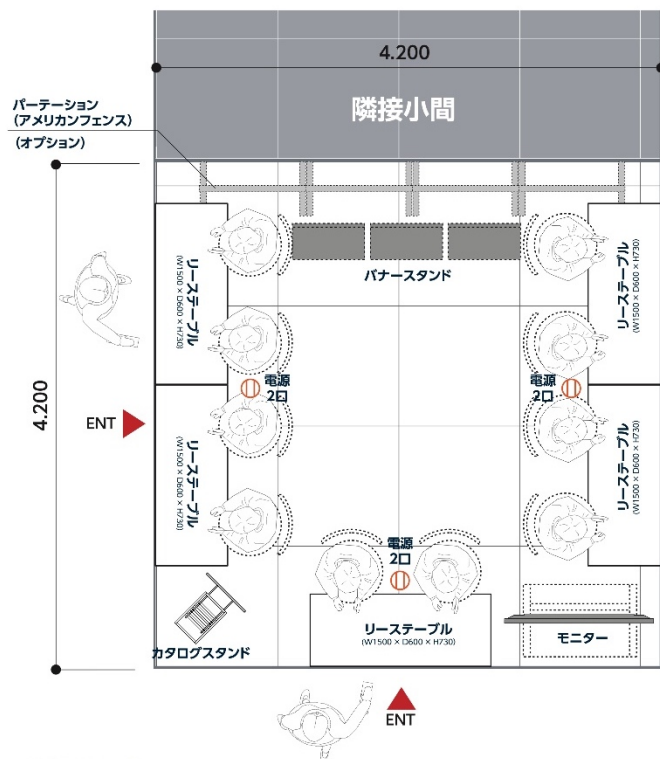
- ・ブース内に来場者通路を設ける場合は通路幅1m以上の確保を推奨します。
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくようお願いいたします。



展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Goldsmith Sponsor <販売中心レイアウト>

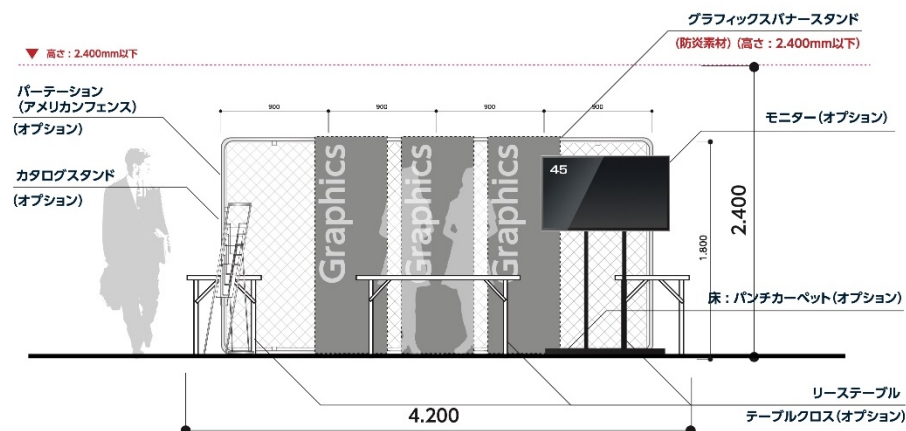
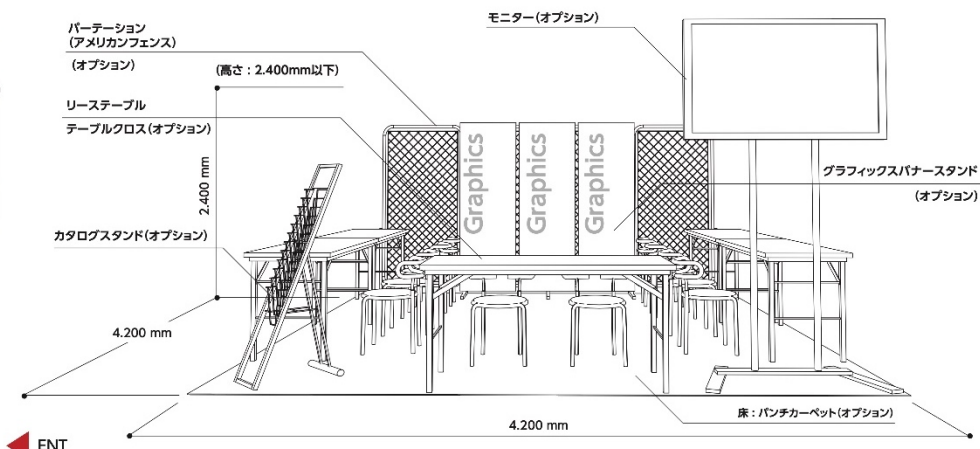


<高さ制限>

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバレーン等の設置はできません。

<来場者への安全配慮について>

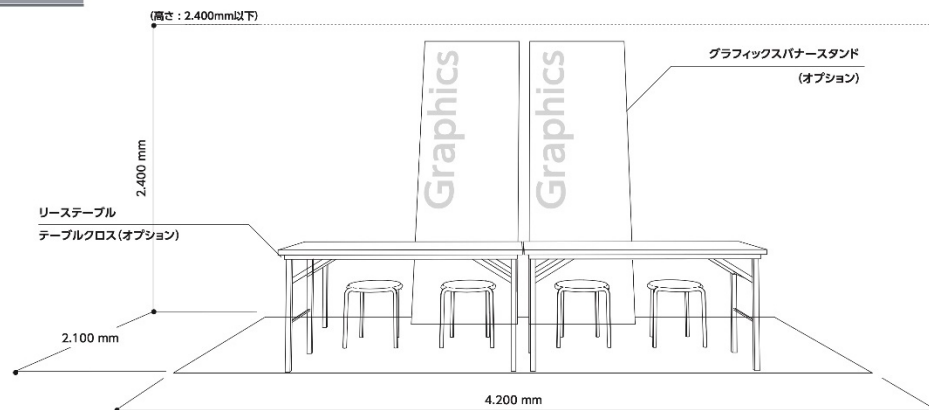
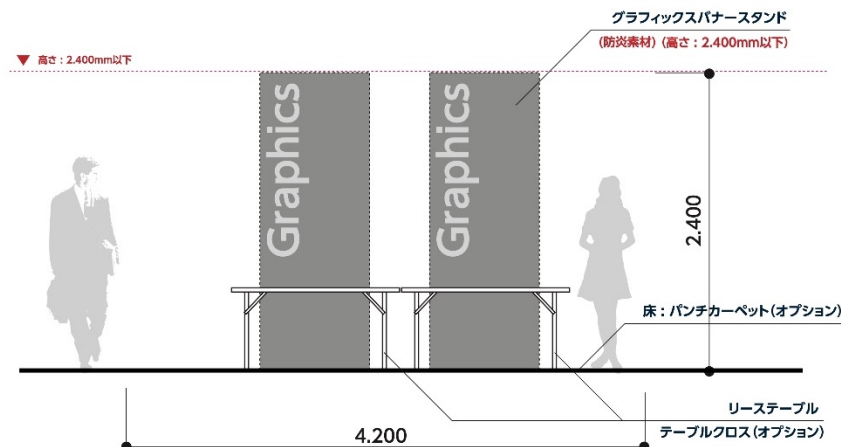
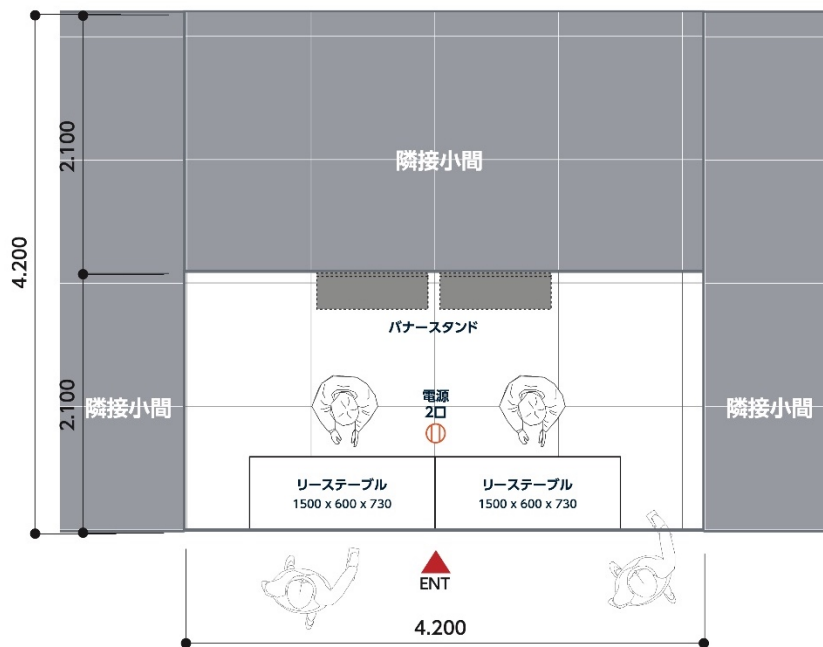
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくをお願いします。



展示スペース（プラン別出展例）

Make:

Silversmith Sponsor



< 高さ制限 >

- ・小間の周辺にはできるだけ壁面を設けないことが望ましいが、もし、設ける場合は以下の条件によるものとし、隣接小間の出展者様とよく連絡調整をはかり、お互い迷惑にならないよう事前に配慮して下さい。
- ・装飾物及び装飾壁面の高さは2.4mまで。
- ・天井からの吊り下げ表示物及びバルーン等の設置はできません。

< 来場者への安全配慮について >

- ・ブース内に来場者通路を設ける場合は通路幅1m以上の確保を推奨します。
- ・装飾及びレイアウトにつきましては、来場者の安全に充分配慮してブース運営を行っていただくようお願いします。

その他メニュー・協賛 [オプション]

Make:

ご要望に応じて活用いただける、各種オプションメニューをご用意しています。（申込対象は協賛社のみ、価格はすべて税別）

■プレゼンテーション

20万円

時間：20分間

参加定員：100名程度（予定）



■ワークショップ

10万円：50分／20万円：110分

時間：50／110分間より選択（設営・撤収含む）

参加定員：10名～15名程度（予定）



■Maker Classroom

10万円～

学生や教員向けの企画、教育ツールを使ったワークショップなど



■ハンズオンコーナー

5万円～

家族連れに人気の、物作り体験エリアへの協賛・協力



■Maker Garage

- Maker向けツールの展示エリア。工具／機材／素材などの出展を歓迎

■出展者懇親会スポンサー 60万円～

- 特典：懇親会会場でのロゴサイン掲示、懇親会スポンサーとして5分までのショートプレゼン、参加者への配布物1点可

■ユーティリティスペース（バックヤード／商談室など）※30万円

※仕様例での参考費用。追加備品、仕様によってお見積り。設置場所は事務局にて調整いたします ▼仕様例：間口2,970mm*奥行2,970mm*高さ2,700mm、システムパネル／鍵付きドア／蛍光灯2本／コンセント1か所2口（電気1kw込）

■プログラムガイド広告 ※要見積

- 会場で配布するプログラムガイド内の広告スペースを提供いたします

■教育機関・学生来場スポンサー 一口5万円／50人分

- 来場希望の教育機関へ招待券を配布
- 特典：対象者には協賛社として出展内容などご紹介

■インフラ／設備スポンサー ※要見積

- エアコン／会場ネットワーク／電気（発電）／チャージャーブース／来場者休憩スペース設備／フード／ドリンクなどのサポート

■配布物（印刷物／グッズ）1点8万円

- 来場者が自由に持ち帰ることができる配布物を、エントランスに設置
- 印刷物は16P・サイズA4まで、部数は5,000部まで
- グッズの場合はサイズ・配布数要相談

■企業内Maker Faireの実施（SILVERSMITH SPONSOR 以上）

- 企業内Maker Faireの開催をサポートいたします
ご興味のある企業様は、お問い合わせ（sponsors@makejapan.org）ください

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

4月 イベント、協賛募集概要のご案内
出展実績企業・お問い合わせ企業向け 優先申込開始

5月 8日（金）協賛 一般申込開始 ウェブへのロゴ掲載
・ 申込内容の確認、出展者との調整 スポンサーロゴは
・ 申込企業へ出展費用の請求書発行 申込順で配置

6月 5日（金）協賛申込締切
・ ブース施工を事務局に委託する出展者と施工案の調整、見積

7月～
8月 申請内容のとりまとめ・所轄団体への申請
出展者限定のキックオフイベント開催
各種申請・ブースレイアウト・備品申込・搬入出申請
締切
・ 申請内容を確認のうえ、必要に応じて出展者と申請書やレイアウトを
調整、安全対策の提案
・ 全出展内容を取りまとめ、会場・消防署・保健所へ申請
・ 電源工事設計発注

ウェブサイト上で出展者情報を公開
マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送

出展計画、申込手続きの確認

- ・ イベントに合わせたプロモーション、マーケティング計画
- ・ スポンサープランの検討
- ・ 事務局との共同企画（オブション）の検討、相談

協賛申込手続き（4～5月）

- ・ 募集要項に沿った出展内容、名義、掲載ロゴを確定の上、申込手続き
- ・ 事務局との共同企画（コンテストや子ども向けの体験教室など）やリリース連携（新製品発表、プレゼンテーションなど）についての調整

【提出物】協賛申込書の提出／協賛申込フォーム入力／ロゴの送付 ※6/5(金)まで

ブース・運営設計（6～7月）

- ・ ブースのレイアウト、装飾、備品、配布物、当日の人員配置などの検討
- ・ 事務局と出展位置の確定

出展費用の入金

各種申請・ブースレイアウト・備品・搬入出申請提出（7～8月）

- ・ ブースレイアウト図、出展内容、持ち込み備品、必要電源の申請
- ・ 危険物や食品の持ち込み申請
- ・ スポンサー入場用タグや招待券の追加発注
- ・ 事務局からレンタルする備品の申込
- ・ 搬入出方法の申請（車両搬入の場合は車両証を配布）

これまで分けてご申請頂いていた備品注文と搬入出申請は、出展内容調査でまとめてご提出していただくことになりました。

**【提出物】出展内容調査フォーム入力／展示レイアウト図／危険物申請書（該当者のみ）
※7/13(月)まで**

イベント出展についての情報発信

- ・ ウェブサイトやメールでの出展告知、リリース配信準備
- ・ 招待券やリーフレットの配布

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

9月

備品、搬入出情報の協力会社への申請

- ・ レンタル備品の発注
- ・ 搬入出について物流・誘導計画作成

危険物・食品申請の出展者へのフィードバック

- ・ 消防署や会場による査察対象の出展者へ通知

直前リリース・取材手配

- ・ 全プログラムと見どころのリリース配信
- ・ 当日の取材調整

ウェブサイト上で出展者情報を公開

マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送

10月

2日（金）搬入・施工

3日（土）・4日（日）**Maker Faire Tokyo 2020 開催**

オプションメニュー、電気・施工、備品追加、スポンサータグ、招待券、搬入出タグ費用の請求

来場者・出展者アンケート速報

11月

開催報告書の配布

自社施工の装飾造作や電気工事の発注

マニュアルを確認のうえ、搬入出スケジュールを計画

インターネット回線の申込（9月初予定／該当者のみ）

当日参加スタッフ・協力会社とのオリエンテーション

- ・ マニュアルの共有、搬入出の方法や時間の確認
- ・ スポンサータグの配布
- ・ 当日の記録計画

直前リリース・取材手配

- ・ リリースの配信
- ・ メディア取材手配、イベントのプレス登録依頼

搬入・施工・出展準備

- ・ 消防署・会場による査察対応（該当者のみ）

効果測定と振り返り（10～11月）

- ・ 物販売上、回収アンケート、配布物・ウェブサイトやアプリへのアクセス数、来場者の声などの評価分析
- ・ 出展内容の紹介ツールやレポートの作成・公開（配布）
- ・ 当日参加スタッフ・協力会社・事務局との振り返り
- ・ 事務局へのアンケート提出

会期後請求分の入金（11月末）

安全なイベント運営のため、消防法、東京ビッグサイト、Maker Faire Tokyo の出展規定・禁止事項を遵守してください。

出展内容やブース設営については、事前に事務局に申請いただき、確認をさせていただきます。

安全対策の詳細と申請方法は「協賛募集要項」「危険物申請に関するご案内」「スポンサーマニュアル」をご確認ください。

■対象

装飾・仕切り・展示台・敷物などに使用する布や木材、工事シート
(例：ターボリンシート、テーブルクロス、バナー、パネル、壁、カーペット、人工芝など)

〔裸火〕 炎や火花を発するもの、発熱部が外部に露出するもの (例：はんだごて、レーザー加工機など)

〔危険物品〕 引火性液体、アルコール類、指定可燃物、可燃性ガス、火薬など (例：ガソリン、軽油、紫外線硬化樹脂、UVインク、フラックス洗浄剤、エタノール、リチウムイオン電池など)

〔水素〕 水素を使用した作品の展示・実演に関してはすべて持ち込みを禁止

天井及び屋根 (布、シートなどを貼り付けたものも含む) の設置
食品の展示、販売、提供、調理、口の中に食品を入れる実験

■対策

展示に木材を使用する場合は、集成材の使用をお勧めします。合板・ベニアの場合は、すべて浸漬加工による防火処理を施して、防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。旗・幕・カーテン、テーブルクロス、カーペットなどの布類は、すべて防火処理を施して、個々の布に指定の防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。(布類の防火加工は、クリーニング店に依頼することが可能)

持ち込みは必要最小限とし、各対象の数量・容量、データシート (MSDS)、ブース内での保管・使用位置、使用用途、安全対策などを提出して下さい。申請がなかった物品の持ち込みはできません。

本イベントは、個人の出展・自作品の展示が多く、会場・消防署より慎重に出展物の確認が行われます。通常の企業展示会とは申請範囲が異なる場合があることをあらかじめご了承ください。また、開催前日もしくは初日に消防署の査察が行われます。申請と展示が異なる場合は、撤去やイベント全体の中止を求められる可能性があります。

事務局を通じて事前の届出を行います。実施するために必要な設備や施工に実費がかかります。

お申し込み

締切：6/5（金）

- 希望者へMaker Faire Tokyo 2020 の申込書類やフォームをお送りします。お申し込みには以下の手続きが必要です。
- 1. 「協賛申込書」（Excelファイル）に記入のうえ、メールまたは郵送で提出
- 2. 「ロゴデータ」をメールで提出（会場サインにも掲載するため、ai、eps. などベクター形式推奨）
- 3. 「スポンサー情報登録フォーム」（オンラインフォーム）より、出展内容や公開情報を提出
- 4. Startup Sponsor（初回）の場合は、企業概要・製品概要がわかる資料をメールまたは郵送で提出

協賛費用のお振り込み

- お申し込み内容についてMaker Faire ガイドラインに沿って確認を行い、協賛および出展内容を受諾した出展者に請求書を送付します。
- 一旦お振り込みいただきました協賛費用は、事務局がご協賛を辞退する場合を除き、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

ウェブサイトロゴ掲載

- 請求書発行後、順次、Maker Faire Tokyo 2020 のウェブサイトにもロゴを掲載します。
- 各締切から掲載までは、およそ2週間かかります。掲載時期を遅らせるなど調整が必要な場合は、事前にご相談ください。
- 掲載ロゴは、各プランにつき1つです。

お問い合わせ先

株式会社オライリー・ジャパン Maker Faire Tokyo 事務局 スポンサー担当
E-mail sponsors@makejapan.org